

2023年10月31日

各位

会社名 日本ハム株式会社  
代表者名 代表取締役社長 井川伸久  
(コード番号 2282 東証プライム)

問合せ先 広報IR部長 松田知也  
(TEL 06-7525-3031)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年5月10日の「2023年3月期決算短信〔IFRS〕(連結)」にて公表した2024年3月期通期の連結業績予想及び個別業績予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想数値の修正

##### 【連結】

■2024年3月期通期連結業績予想数値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	事業利益	税引前 当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想(A)	1,260,000	38,000	34,000	23,000	224.38円
今回修正予想(B)	1,300,000	44,000	42,000	28,000	272.91円
増減額(B)-(A)	40,000	6,000	8,000	5,000	
増減率	3.2%	15.8%	23.5%	21.7%	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	1,259,792	25,596	22,162	16,637	162.44円

##### 【個別】

■2024年3月期通期個別業績予想数値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	820,000	13,700	15,100	147.31円
今回修正予想(B)	830,000	18,500	19,000	185.19円
増減額(B)-(A)	10,000	4,800	3,900	
増減率	1.2%	35.0%	25.8%	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	810,307	6,972	12,231	119.42円

## 2. 業績予想修正の理由

### 【連結】

売上高につきましては、食肉販売会社における販売数量の伸長と価格転嫁の浸透に加え、加工事業における価格改定効果により、第2四半期連結累計期間が好調に推移したことを踏まえて通期の予想を見直した結果、前回予想を上回る見通しとなりました。

事業利益につきましては、食肉事業における輸入食肉全体の市況回復や、好調な食肉販売会社で利益確保が進んでいることに加え、海外事業においても豪州の牛肉販売価格の回復による収益改善が見込まれることから、前回予想を上回る見通しです。

税引前当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益につきましては、事業利益の増益要因に加え、円安の進行による為替差益が生じたことなどにより、前回予想を上回る見通しです。

### 【個別】

売上高につきましては、加工事業において価格改定による増収効果が継続すると見込まれることや、食肉事業において国内鶏肉相場が堅調に推移していることから、前回予想を若干上回る見通しです。

利益につきましては、加工事業における主力商品の販売伸長による利益率の改善に加え、食肉事業において、輸入食肉相場の堅調な推移により利益確保が進むと見込まれることから、各段階利益において前回予想を上回る見通しです。

以 上

### 《将来に関する記述等についてのご注意》

本プレスリリース資料に記載されている計画や業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成をお約束する趣旨のものではありません。実際の業績などは事業等のリスクを含む様々な要因によって、このプレスリリースに記載されている計画や予想と大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えください。なお当社は、法令又は金融商品取引所の規則で義務付けられている場合を除き、将来における情報、事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、業績予想などの将来に関する記述を常に見直して公表するとは限りません。また当社はそのような義務を負うものではありません。